

基本情報						
教科・科目		国語		授業で使用するもの		
担当者		荻原 健雄		・教科書『伝え合う言葉 中学国語2』（教育出版） ・『常用漢字オールクリア』（南文出版） ・ジャパンナレッジ（電子教材）		
評価割合（試験：試験外）		試験：50 試験外：50		試験外評価については、年間を通して行う漢字テストや授業で行う、プレゼンテーションや創作活動で評価を行う。		
年間を通じて教科で培う力		読解（知識及び技能）		・様々な種類の文章に触れ。興味・関心の幅を広げるとともに、社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができる力をつける。		
		推理（思考力・判断力・表現力等）		・社会生活における人との関わりの中で伝えあう力をつける。 ・論理的に考える力や共感、想像する力を養い、自分の思いや考えを深めたり、広げたりする力をつける。		
		探究・学習（主体的に学習に取り組む態度）		・文章の背景や、他者の考えや意見を通じて、言葉の持つ価値を認識し、思いや考えを伝えあおうとする力をつける。 ・読書を生活に役立てる力をつける。		
学習情報						
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4		詩『虹の足』 詩を通じて、筆者の思う「幸福」について考え、他者との会話を通じ、自分自身の「幸福」について考察する。	・「光っている虹（具体、虹の足）」と「光っていないもの（抽象、幸福）」の共通点を理解している。 ・表現技法を適切に使うことができる。 ・筆者の視点の変化を理解している。 ・自分自身の「幸福」について考えることができる。	・表現技法 ・内容読解 ・「幸福」とはどのような時、状態なのか	・講義 ・グループワーク ・発表	・発表内容 ・相互評価
5		小説『タオル』 この作品を読むことで、具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めつつ、登場人物の感情や心情を読み取る。 文法 「活用のない自立語」	・小説内における「タオル」が何を象徴しているのかを理解している。 ・文学的な表現を通じ、語感を磨き、語彙を豊かにする。 ・少年の感情の変化が、表現の効果により、明確なものになっていることを理解する。 ・具体と抽象を適切に使うことができる。 ・活用のない自立語の働きを理解し、適切に文章の中で使うことができる。	・内容読解 ・「タオル」のもつ役割や効果について考える。 ・祖父の周りの人々やの思いから、祖父の人物像について考える。 ・各場面ごとに少年の心情の変化について「源」に注視し、考える。 ・創作活動	・講義 ・ワークシート ・グループワーク	・小テスト
6	定期試験① 令和8年 6月2日～6月4日 範囲)					
6		文法 「活用のある自立語」 説明文『水の山 富士山』 この文章を読むことで、科学的な探求の筋道の立て方を学び、自身の探究活動に活かす。	・用言の活用と種類、用法を理解し、適切に文章の中で使うことができる。 ・情報と情報との様々な関係の表し方を理解し、使うことができる。 ・文章と図を結びつけながら、内容を理解している。 ・文章を読んで考えたことや理解したことを自身の知識や経験と結びつけることができる。 ・細点を明確にして、文章を比較しながら読むことができる。	・動詞、形容詞、形容動詞 ・活用表 ・内容読解 ・全文を読み、内容を要約しながら、段落分けをする。 ・問いと答えの関係性を考える。 ・富士山がもたらす恵みについて、筆者の考えを学び、自身の考えまとめ、他者と共有する。 ・富士山についての調べ学習 ・創作活動	・講義 ・ワークシート ・グループワーク	・小テスト
7		提案「説得力のある提案をする」 事実と意見を区別して提案することやその提案の実行可能性を提示すること、語の構成を工夫すること。	・語の構成を効果的に組み立てながら話すことができる。 ・意見と根拠、具体と抽象など、情報と情報の関係について理解できる。 ・社会生活の中から話題や疑問を見つけ、異なる立場や考えを想定しながら、自らの提案を行うことができる。	・「計画する」ことの大切さを理解する ・文章構成の重要性を理解する。 ・スピーチ原稿の作成 ・他者の発表を聞き、意見や提案の適切さを確認し合う。	・講義 ・ワークシート ・発表 ・共有	・提案発表 ・相互評価
7	定期試験② 令和8年 7月9日～7月11日 範囲)					
9		詩『豚』 この詩は平易な言葉で描かれている点に注視し、その言葉に込められている背景や世界を想像する。 文法 「付属語のいろいろ」	・詩の構成や展開を理解し、詩の世界観を豊かに想像することができる。 ・言葉に込められた背景を想像することができる。 ・助動詞や助詞が文章中にどのような意味を持つか理解できる。 ・付属語が果たす、ニュアンスの差異について理解できる。	・タイトルの「豚」という言葉のイメージを考える ・連の関係性に気を付けながら詩を読む。 ・詩のイメージを交流する。 ・助詞、助動詞 ・創作文	・講義 ・ワークシート ・発表 ・グループワーク	・発表内容 ・相互評価
10		小説『坊ちゃん』 わが国を代表する作家とその作品について学び、近代の小説や物語を読み、文学の面白さや物語を批評しながら読む。	・文章を批評しながら楽しむことができる。 ・他の作品や近代文学に関する資料を適切に集めることができる。 ・近代文学の作品や作家を比較し、吟味することができる。 ・読書の価値が理解できる。 ・複数の情報を整理しながら、適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などを理解できる。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。	・読書についての興味関心、意義を確かめる。 ・初読の感想を交流する。 ・読書資料を確認する。 ・「坊ちゃん」の続きを想像する。 ・続きを書く。 ・夏目漱石や夏目漱石の作品について調べる。 ・その他の作者や近代文学について調べ、読む。	・講義 ・ワークシート ・グループワーク ・発表	・発表内容 ・相互評価 ・創作文
11	定期試験③ 令和8年 10月20日～10月22日 範囲)					
11		評論『ガイアの知性』 自然や知性に対する筆者の考えを理解し、自身のこれからの自然との関わり方について考察する。また推論を重ねた文章を読むことで、自らも推論を可能にすることで、対比構造の文章を自ら書く。	・抽象的な概念を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことができる。 ・意見と根拠、具体と抽象などの情報と情報との関係について理解することができる。 ・文章を読み、理解したことや考察したことを知識や経験と結びつけることができる。 ・筆者が用いる語句の意味を正確に捉えることができる。 ・対比の文章を自ら書ける。	・問題と主張の関係を把握する。 ・「象と鯨」と「人間」の二つの「知性」の対比構造を理解する。 ・第一段落の二つの問題提起を捉え、第二段落以降の解決に関わる語句を見つける。 ・「船と象」の「高度な知性」とは何かを理解する。 ・「攻撃的な知性」と「実質的な知性」を理解する。 ・筆者の主張について考察する。 ・筆者の主張に対し、自らの意見を考察し、推論を深めつ	・講義 ・ワークシート ・グループワーク ・創作	・創作文 ・授業後の小アンケート「知性」とは何かの解答
12		脚本『脚本で動きを説明する』 小説を脚本の遠いを理解し、小説を脚本に書き換えることができる。また、小説と脚本の遠いを理解し、脚本を書く際にそれぞれの効果について理解できている。	・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で伝えたいことを明確にできる。 ・小説と脚本を構成する両方を理解し、それぞれの表現などの違いを理解できる。 ・小説を脚本に書き換えることができる。	・小説と脚本の違いを考察する。 ・好きな小説を脚本に変える。 ・他者の脚本を見合う。	・講義 ・創作 ・共有	・脚本 ・相互評価
12	定期試験④ 令和8年 12月10日～12月12日 範囲)					
1		短歌『短歌の味わい』 様々な時期に生まれた短歌の持つ魅力に触れ、文学的な感性を豊かにする。 古文『教壇の最後』 作品の歴史的背景を理解し、文法文に積極的に触れ、古典を楽しむ。また、現代に生きている人々との価値観の違いに注視しつつ、作品を読むことで、自身の持つ価値観を	・情景や心情を感じとることができる。 ・作品の特徴を理解し、古典の世界に親しむことができる。 ・学習を生かして、短歌を創作することができる。 ・作品の特徴や時代背景を理解し、古典の世界に親しむことができる。 ・文章全体と部分との関係や言動に注意しながら、登場人物の心情についての理解を深めることができる。	・短歌の味わい方について、筆者の考えを理解する。 ・短歌を音読し、情景や心情を捉え、表現の工夫にも注視する。 ・短歌の決まりを理解し、創作する。 ・『平家物語』や源氏と平家について学ぶ。 ・書かれた当時の歴史的背景を学ぶ。 ・この作品が書かれた意義について話し合う。 ・全文を通読し、心情や言動についてまとめる。 ・実際に『教壇の最後』を見る。	・講義 ・創作 ・共有 ・講義 ・ワークシート ・グループワーク ・鑑賞	・創作短歌 ・相互評価 ・感想シート ・振り返り（内容や歴史的背景）
2		小説『走れメロス』 内容読解を通じて、豊かな人間性を養い、たくましく生きる意欲を育てたり、人間、社会、人生について、より考えを深める。また、人物の変化に注意し、全知視点と俯瞰視点を見分け、三種類の語りの意図や効果があるのかを考え、作者の意図を考える。	・抽象的な概念を表す語句の量を増やし、文章中で使うことを通じ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・登場人物や言葉に込められた意味を積極的に理解できている。 ・太宰治の秀逸な文体や登場人物の設定や関係などの、物語の持つ、面白さや魅力が理解できる。	・通読し、全体の構成を捉える。 ・特徴的な表現や面白かった文や言葉をまとめる。 ・状況や登場人物などについて相関図等をつくる。 ・登場人物の言動や心情、その変化を捉え、自分の意見をまとめる。 ・人物などが作品に与える効果について考える。 ・シラーの『人間』と比べ読みをして、『走れメロス』に特徴的な点を明らかにする。 ・メロスの走る速度を計算する。	・講義 ・ワークシート ・グループワーク	・感想シート ・振り返り（内容や歴史的背景） ・計算シート
3	定期試験⑤ 令和8年 3月4日～3月6日 範囲)					